

こども若者ミーティングを開催しました

小学校4年生～
29歳のみなさんと

開催日・場所

2025年12月13日 14:00～16:00

廿日市市民ホール



廿日市市では、こどもと若者が自分らしく暮らせる「こどもまんなか社会」を廿日市市で実現するための「こども計画」を策定中
です。こども計画の策定にあたって、小学校4年生～29歳のみなさんのご意見をうかがいました。

ミーティングの流れ

① 自分の意見が計画にどう生かされているのか見てみよう

これまでのミーティングで自分が出してきた意見が、計画の中にどう反映されているのか、反映されなかった理由について確認しました。



② みんなの居場所になる「市民センター」でやりたいことを考えよう



これまでのミーティングでは居場所に関する意見が多かったことから、みんなの居場所として利用できる「市民センター」でやりたいことを、やりたい頻度別に考えました。

③ 市民センターでやりたいことを実現するために必要なことを考えよう

②でグループごとに考えた「市民センターでやりたいこと」について、実現するために必要な機能やルール、どんな時にやりたいかの具体的な場面について考えました。



みんなに聞いた「市民センターでやりたいこと」

毎日

- ・掲示板をつくる
- ・ものづくり体験（種類豊富）
- ・公共のものや電子機器がほしい
- ・物々交換イベント
- ・匿名交換日記
- ・プレゼント交換（イベントに合わせた）
- ・自分の好きなものをさらに知る

1
班

週1～2回以上

- ・地域の人、年代の違う人、知らない人とつながる場所
- ・人前で話したいことを話す場
- ・それぞれの趣味について交流し合う
- ・新しいものに興味を持つ場
- ・勉強を教え合う
- ・友達と話す
- ・自分の得意を教える勉強会
- ・自分のやっていることを見せようイベント
- ・仲よくなるために全員で遊ぶ

月1回以上

- ・何かのコンクール
- ・好きなもの食べ放題（大会？）

不定期

- ・将来の夢の職場体験
- ・コスプレイベント開催
- ・ぬりえ作成会
- ・気軽にできるスポーツで交流
- ・大運動会

毎日

- ・カードゲームで遊びたい
- ・同じ学年、年下の人と遊ぶ
- ・流行りの音楽が流してある部屋で勉強したい
- ・友達と自由に遊びたい
- ・自由に遊べるテレビゲーム
- ・スポーツや趣味を周りを気にせず練習できる

2
班

週1～2回以上

- ・違う学校の人と喋ってみたい
- ・静かに勉強できるところがほしい→友達と勉強したい
- ・卓球等のスポーツ系がしたい

月1回以上

- ・みんなとお菓子づくり
- ・みんなでごはんを食べる
- ・ワークショップ、同年代が集まれるもの
- ・お泊まり会をしたい
- ・色々な人と交流しながら遊ぶ

不定期

- ・誰でもできるスポーツ大会
- ・幅広い年齢の人たちとも関わるができるイベント
- ・学校や塾の宿題を先生に教えてほしい
- ・夏休みに宿題を教えてもらう
- ・同窓会を開きたい
- ・長期休みでも友達と遊べる
- ・職場体験
- ・ダンスのイベント
- ・地域の人と関われるようなイベントなど
- ・学生がお祭りで屋台を出店

「市民センターでやりたいこと」を実現するために必要なこと

やりたいこと①：交換イベント

必要なルール

- ・物に名前を書かない
- ・強制はしない
- ・食品関係（アレルギー）注意
- ・大人・子どもで分ける
- ・来たときより美しく
- ・長く放置されているものは持ち主が回収する、きれいにする
- ・職員が毎日確認する

必要な機能

- ・机・いす
- ・交換BOX
- ・交換する物＋一言
- ・告知

具体的な場面

- ・好きなタイミング
- ・入口の近く



やりたいこと②：多世代の地域の方々との交流

必要なルール

- ・必ず1人以上知らない方と話す
- ・テーマを決める
←見える化させておく
- ・リモート参加の場合は通信環境の安定

必要な機能

- ・年代に分けて色分けされているもの
- ・スタンプカード（参加回数の記録）
- ・部屋（机・タイマー）
- ・飲み物・お菓子
- ・スクリーン等投影機
- ・公式LINE・市のホームページから告知
- ・昔のゲーム
- ・メモ（ふせん）

具体的な場面

- ・土・日
- ・1か月前から告知
- ・チラシ（掲示・配布）
- ・自分のやっていることを伝えたい・広めたい人



やりたいこと①：違う学校の子と遊びながら交流

必要なルール

- ・物を使う時はていねいに
- ・遊ぶ前に自己紹介をする
- ・その部屋にいる人全員で遊ぶ
- ・男女関係なく遊ぶ・話す
- ・帰りにみんなで話しながら掃除する
- ・仲良くする
- ・みんなが持ち寄った物でも遊べる

必要な機能

- ・遊びに使えるゲームまたは場所
- ・だれでもできるスポーツ、カードゲーム
- ・くじ引きでメンバーを決める
- ・名札（呼んでほしい名）をつくる
- ・ジュース、お菓子（アレルギーに配慮）
- ・障がいがある人もできる（eスポーツやポッチャ、トランプ、ボードゲーム等）

具体的な場面

- ・放課後みんなが集まれる時
- ・暇なときに立ち寄れる
- ・休日の暇なときにふらっと寄れる
- ・夏休み、冬休み、土、日、祝日等



やりたいこと②：物々交換「わらしべ長者」イベント

必要なルール

- ・ごみとの交換禁止
- ・だれでもできる
- ・1日1人1回まで
- ・格差が出ないように平等に楽しく
- ・同じレートで物と交換
- ・忙しい人でも参加できる
- ・ある程度の大きさや値段の制限
- ・いろいろな年代の人との交流になる

必要な機能

- ・年代で分けるのも面白い（小学生女子、シール交換）
- ・メッセージが書ける
- ・掲示板やボードでみんなが見られるようなところ
- ・市民センター前には何か掲示→通学・通勤のとき見られる（日常的に見る）
- ・誰からの物なのかわかる（アイコン作るなど）

具体的な場面

- ・気軽に見える、交換できる
- ・立ち寄りやすい時、1人の時（1人で家は寂しい）
- ・日時を決めて友達と一緒に
- ・休日の暇な時
- ・1人だけでなく、友だち等とも行く

